



第 1216 回例会報告

平成 22 年 3 月 17 日(木) 晴

会長挨拶

会長 長崎政直

東北地方太平洋沖地震

とてつもなく恐ろしい地震・津波が、東北地方から南関東を襲いました。東北地方太平洋沖地震と命名されました。お亡くなりになった方々のご冥福を祈るとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。諏訪湖クラブの関係者では、小林聖仁さんの生家、近江さんの生家が被災されましたが、身体には及ばなかったということで、幸いでした。会員の皆さんの経済行為においても、様々な滞りが起こっていると思います。お見舞い申し上げます。

11日以来、テレビに釘付け、ことの成り行きについては、理解されておられるでしょう。救援のために何をしたら良いのか、毛布と紙おむつが必要との情報があり、買い求めて役場に届けました。それ以外全く覚束ないことに、無力やそれゆえの苛立ちを感じておられるかもしれません。

余震は、峠を越えているようにも思いますが、福島原子力発電所では、今もって、危険な状態が続いているようで、心配なことです。原発に関する情報は素人には難しく、また、情報操作がなされているのではないかとの推測もありますが、出てくる政府発表等を希望的に信じるしか術はありません。

ともあれ、何時になるのかわかりませんが、なんらかの納まりを待ち、復興への援助に物心ともに備えることが大事だと思います。

日本経済新聞、社説や囲み記事によれば、阪神大震災の被害額は兵庫県の推計値として約 10 兆円ということで、1 国民あたりにすると約8万ということになります。復興のための援助として誰もが拠出できるわけではありませんが、このくらいの覚悟は付けておかなければならないだろうと思っています。

世界は、被災地の人々の冷静な対応・秩序意識に驚き、賞賛の声も上がっています。アメリカのハリケーン来襲、ミシシッピ川の氾濫後の略奪も、日本では、おこりません。なぜだろうか？ 共助、公助への信頼があ

るからだろうか？ 戦後疎かにされているけれど、それでも道德教育(敬意と品格の文化)の名残か？ 共助、公助への信頼や敬意と品格の文化、それに応える同胞、日本人でありたいと思います。

この世界からの賞賛の一方、東京都の石原慎太郎知事は「日本人の国民意識が、金銭欲、物欲、性欲などの我欲になっている。この地震をうまく利用して、日本人の我欲を一回洗い落とす必要がある。これはやっぱり天罰だと思う。」という発言があったようですが、その後表現が適切ではなかったとの深謝がありました。私は「なるほど・・・天罰か！！」と思いつつ、「政治家どもよ、国民不在で、権力争いばかりしているから・・・天罰だ」と思ったものです。

4年前の諏訪地方を襲った豪雨災害、その折りには、日赤や、諏訪湖ロータリークラブからも義捐金を頂き、2 千万円近い義捐金が下諏訪町に寄せられたと記憶しています。床上浸水した被災者や崖崩れした一般家屋の復旧に使わせていただき、大変助かりました。恩返しをしなければならぬと思っています。

- 1896 年 明治三陸地震 M8.2~8.5
死亡・行方不明 21,959 人
- 1923 年 関東大震災 M7.9
死亡・行方不明 105,000 人余
- 1933 年 昭和三陸地震 M8.1
死亡・行方不明 3,064 人
- 1960 年 チリ沖地震 M9.5
死亡 142 人
- 1995 年 阪神淡路大震災 M7.3

<p>■ニコニコ BOX</p> <p>21名 25,000円 累計 991,000円 目標額 130万円 達成率 76.2%</p>	<p>■出席報告</p> <p>会員数 35名 出席対象 35名 出席者数 24名 出席率 68.5% 前回修正 91.4%</p>
<p>■今週のことば</p>	<p>■ 次回のプログラム</p> <p>3月24日 自宅例会</p>



死亡・行方不明 6,437 人
 2011 年 東北地方太平洋沖地震 M9
 死亡・行方不明 3/17 13,400 人超

◇幹事報告◇

1.以下の文書を受領・配布致しました。

①ウィークリー(富士見 RC・諏訪 RC)受領致しました。

ロータリー手帳買い上げ注文依頼 2 回目を受領しました。当会での購入希望者はお申し出下さい。

②ニュージーランド地震災害義捐金協力依頼が綿貫ガバナー事務所より受領致しました。3 月 17 日と 24 日例会時に義捐金受付を行います。皆様のご協力をお願いします。

2.連絡事項

①今月の理事会は予定を変更して 3 月 17 日午後 6 時 30 分より行います。出席義務者には別途連絡いたします。

②当会会員名簿を配布致しました。国際ロータリー登録情報を記載してあります。訂正希望は幹事までお申し出下さい。

◇臨時総会決議報告◇

3月17日13時10分から13時30分まで臨時総会が開催され下記が決議されました。

1.3月24日夜間例会(2008年8月開催ライラ参加者を招いての新世代活動委員会担当例会)は取りやめる。

理由

①災害発生によりライラ参加者への出席要請は難しい。

②飲食を伴う例会であり災害発生後の混乱の中で広報要請も困難であり誤解を受けてしまう。

③改めて企画してもよい議題であり中止して費用を浮かし東北関東大震災の被災者支援に寄付したい。

2.例会中止による予定経費と基金積立予定金を合わせ金 40 万円を本会計から支出する。

1216 回例会 「社会奉仕活動の今後」

社会奉仕委員会
 森山広委員長

諏訪湖ロータリークラブは、諏訪湖の浄化をはじめ環境問題への取り組みを行ってきました。

社会奉仕委員会の重要な三大事業、社会福祉の現状研究、里山整備事業への参加及び検証、諏訪湖浄化をはじめ環境問題への取組みについて、長崎会長指

針に基づき事業展開方法の見直し、単年度事業ではなく長期事業となり続けるように継続事業の再評価を行うことを行ってきました。

社会福祉の研究については高山巖会員が、里山整備事業への参加および検証小林強副委員長発表をしてきました。

本日は、諏訪湖浄化について違った切り口からお話いたしますが、紙面の都合上詳しい報告ができませんのでホームページ記載のスライドを参照ください。



我々はどうすべきなのか？

- ・ 透明度も2メートル近くある



諏訪湖が抱えている新たな問題点

- 1、湖底の貧酸素
 夏季湖底が貧酸素状況になる
- 2、外来魚の増殖
 ブラックバス、ブルーギル等の異常増殖
- 3、害鳥の飛来
 カワアイサ、カワウ、サギの飛来
- 4、水生植物の増殖
 ヒシ、カナダモ(大小)の異常繁殖
- 5、流入土砂や災害対策(危機管理)

諏訪湖ロータリークラブの宿命

- ・ この諏訪湖がある限り
 諏訪湖ロータリークラブが存在する
 クラブ創設の源泉であるから・・・

そして、諏訪湖浄化・環境だけでなく

災害・防災の観点も考え総合的に
 考える必要があるのではないだろうか！！
 社会奉仕の一端を担ロータリアンとして・・・